

鉄、管鵬、張孟傑ノ三名ニ対シ会審衙門ヨリ拘引状ヲ発シ
管鵬ハ翌二十日同衙門ニ拘留セラレ支那及英國会審官ニテ
一応ノ審理ヲ為シタルモ其乱党タル証拠不十分ナルヤ揚観
察使ハ更ニ管鵬ニ私ニ外債ヲ借り該金ヲ私消シタルモノト
ノ起訴事項並ニ理由ヲ添加シ爾來会審衙門ニ於テハ数回審
理ヲ行ヒタルニ本件裁判管轄問題ニ付キ原告支那政府ノ訴
訟代理人ハ同人ノ裁判ハ之ヲ安徽省ニ於テ行フベシト主張シ
支那会審官ハ之ヲ正当トシテ安徽省ニ引渡サンコトヲ主張
シタルモ英國会審官ハ之ニ反対シ本件ハ当地会審衙門ニ於
テ判決ヲ与フベキモノナリト主張シ両会審官ノ主張ヲ異ニ
シ懸案タリシガ七月二十一日ニ至リ鄭上海鎮守使ヨリ更ニ
管ハ公私文書ノ偽造犯罪アリト起訴セシガ遂ニ八月五日ノ
審理ニ於テ英國会審官ハ支那政府ガ本件ヲ安徽省ニ引渡サ
ズ当地会審衙門ニ於テ裁判スルコトヲ二十四時間内ニ承認
セザルニ於テハ本件ヲ却下シテ管ヲ海外ニ追放セシムベシ
トノ宣告ヲ与ヘ支那会審官ハ之ニ応セズ單ニ管ハ未決監ニ
収容シ更ニ審理スベキ旨ヲ宣告セリ然ルニ其後支那政府ハ
本件ノ会審衙門ニ於ケル裁判ヲ承認シ管ヲ安徽省支那官憲
ニ引渡サザルコトトナリタルニ付同衙門ニ於テ從来本件会

致來候間為御参考茲ニ右写封入致シ尚英文判決中ニアル

追放ノ意味ハ支那ヨリ追放（漢文判決ハ租界ヨリ追放ト
アルモ）ノ意味ニ検察員ニ於テ承知セル趣ニ付右申添候
也

註 起訴状写及英漢文判決写省略

四 常玉鉄道

三一七 一月二十四日

（在漢口高橋總領事代理ヨリ
牧野外務大臣宛）

常玉鉄道ニ閥スル八木書記生報告写送付ノ件

附屬書 一月二十一日附在九江八木書記生ヨリ在漢口高

橋總領事代理宛機密第五号写
常玉鉄道ニ閥スル江西省側ノ動靜ニ付報告ノ件

機密第一五号
大正三年一月二十四日
在漢口

総領事代理 高橋 新治（印）

外務大臣男爵 牧野伸顯殿
八 華中及華南鉄道交渉ニ閥スル件 (四) 三一七

審官タリシ支那正会審官閔炯ハ支那会審官聶宗義ニ替リ英
國正会審官「ガーステン」ハ英國副会審官「グランド、ジ
ヨンス」ニ替リ更ニ本件ニ閑シ数回ノ法廷ヲ開キ原告及被
告ノ弁護士ハ互ニ弁論ヲ試ミタル上本月中旬審理終結シ遂
ニ昨日即廿六日ヲ以テ被告管鵬ハ一年半ノ懲役ニ処シ期滿
後租界ヨリ追放スベシトノ最終判決ノ宣告アリ右判決ハ支
那及英國会審官ニ於テ協議ノ上与ヘタルモノニ付漢文及英
文同様ノ文意ニテ記サレタリ而シテ當地会審衙門ニ於ケル
刑事々件ニ対スル判決ハ普通ノ場合何等ノ理由ヲ明記セザ
ルヲ例トセルニ付本件ノ如キモ單ニ前記判決ヲ判決錄ニ記
入セラレタルモノナリ從テ其判決理由ニ閑シテハ特ニ明記
公表スルコト無之候

尚本件ハ邦人側ノ安正鉄道借款ニ関係ヲ有スル義ニ有之候
ヘ共本件發生以來該借款關係ノ当事者ヨリハ何等ノ申出無
之カリシニ付當館ニ於テモ別段ノ措置ヲ取ラザリシ次第ニ
有之候

右御回答旁此段申進候 敬具

追テ本件ニ閑シ當館西田会審官ノ請求ニヨリ会審衙門檢
察使ヨリ當地警察署ノ起訴状写並ニ漢英文ノ判決文送付

常玉鉄道ニ閥スル件

本件ニ閑シ在九江八木書記生ヨリ別紙ノ通り報告有之候ニ
付右写茲ニ差進候間御査閱相成度候 敬具

追テ右写倉知中國興業副總裁ニ御転示相成度旨八木書記
生ヨリ特ニ申出有之候ニ付可然御取計相成度此段申添候
也

写送付先 在支公使

（附屬書）

機密第五号

大正三年一月二十一日
在九江

外務書記生 八木元八

在漢口

総領事代理 高橋新治殿

常玉鉄道ニ閥スル件

客年十月末南昌汪民政長ハ鉄路ニ閥スル大會議ヲ開キ常玉
線問題ニ閑シ李烈鈞湯壽潛間ニ訂結サレアル契約条項ヲ改
訂シ計画ヲ進行セシムル事ヲ決議シタルモ財政困難ノ為メ

資金ノ調達ニ苦ミ浙江側ノ督促ニ対シテハ契約ノ改修ヲナシ度旨電覆シタル趣ハ客年十一月二日附機密第百十七号拙信ヲ以テ及御報告置候處其後当地南潯鉄路公司員ノ談ニ右協議ノ為メ民政長顧問胡擇上海ニ赴クナラントノ事ナリシガ同人ハ遂ニ南昌ヲ離レズ本件ノ成行不明ナリシ処本日接到セル南昌新聞ノ所報ニヨレバ本月十六日汪民政長ハ行政公署ニ重ナル顧問官及各司長ヲ集メ第六次行政會議ヲ開キ米穀移出解禁、九江商埠開設等ニ関スル問題ヲ議シ又本件都督ノ負担ス可キ株金二十万元ヲ公金ヨリ支出スルハ到底籌シ難キ旨電覆シ又一面商務總会ニ通達シ民間ヨリ株金ヲ募リ浙江理事會ト合力シ此線ヲ布設スルヲ得可キヤ否ヤ問合ス事ニ決定シタリト云フ。

右民間ヨリ株金募集ノ事ハ李烈鈞在任當時ニ於テモ到底実行出来サル事ヲ覺悟シテ本計画ヲ進メタルモノニシテ目下騷乱ヲ經テ内地金融非常ニ窘迫シ居ル際商務總会ニ於テ之レニ応スル能ハサルハ明ナル所ナリ

尚江西側當局者ニ於テハ玉山ハ減水時水運ノ便悪シキニ付

到セル南昌新聞ノ所報ニヨレバ本月十六日汪民政長ハ行政公署ニ重ナル顧問官及各司長ヲ集メ第六次行政會議ヲ開キ米穀移出解禁、九江商埠開設等ニ関スル問題ヲ議シ又本件都督ノ負担ス可キ株金二十万元ヲ公金ヨリ支出スルハ到底籌シ難キ旨電覆シ又一面商務總会ニ通達シ民間ヨリ株金ヲ募リ浙江理事會ト合力シ此線ヲ布設スルヲ得可キヤ否ヤ問合ス事ニ決定シタリト云フ。

右民間ヨリ株金募集ノ事ハ李烈鈞在任當時ニ於テモ到底実行出来サル事ヲ覺悟シテ本計画ヲ進メタルモノニシテ目下騷乱ヲ經テ内地金融非常ニ窘迫シ居ル際商務總会ニ於テ之

レニ応スル能ハサルハ明ナル所ナリ

尚江西側當局者ニ於テハ玉山ハ減水時水運ノ便悪シキニ付

件名
常玉及贛浙鉄道ニ閥シ上申ノ件
(附屬書)
写
機密第六号
大正三年一月二十一日

在九江

外務書記生 八木元八

在漢口

常玉及贛浙鉄道ニ閥シ上申ノ件

総領事代理 高橋新治殿

常玉鉄道計画ニ閑スル成行ハ屢次及報告候処有之又最近江西側ノ態度ハ別信機密第五号ヲ以テ報告ノ通リニ有之候処
済江側発起者ニ於テハ本件計画ヲ第二次革命騷乱前ノ取極メニ基キ至急進行サセント尽力致居ル様ニ候ヘ共江西側ノ態度別信報告ノ通リニ付到底容易ニ要領ヲ得間敷其中交通部直轄トナルニ至ランカトモ被考候

原来常玉線ハ贛浙鉄路予定幹線ノ一部ニシテ将来福建鉄道ニモ連絡ス可キモノニ有之本線ニ閑係ヲ著ケ置クハ将来ノ

寧ロ本線ハ大形民船ノ來往スル錦江流域ノ大市場河口鎮迄之レヲ延長スル事得策ナリトノ説ヲ唱ヘ居ルモノアル由ナリ

右及報告候也

三一八 一月二十四日 在漢口高橋總領事代理ヨリ

附屬書 一月二十一日附在九江八木書記生ヨリ在漢口高橋總領事代理宛機密第六号写

常玉及贛浙鉄道ニ閥スル八木書記生意見伝達
ノ件

ノ件

橋總領事代理宛機密第六号写

右意見上申ノ件

機密第一六号

大正三年一月二十四日

(二月一日接受)

在漢口

総領事代理 高橋新治(印)

外務大臣男爵 牧野伸頤殿

大正三年一月二十一日附
機密第六号

在九江八木書記生

来信写送付

送付先在支那公使

為メ頗ル緊要ナル事ニ有之李烈鈞在任中本計画ノ起リシ際ニハ南昌ニ於テ我資本家ト何等關係ヲ付ケ得可シト期待致居リ候処形勢已ニ一変シタル今日中央交通部ノ鐵路政策及南昌官憲ノ態度ニ照シ我ニ於テ地方ニ在リテ先シ何等關係ヲ付ケント運動スルモ成功六ヶ敷ハ明カナル状態ニ立至リ候
目下交通部及江西官憲ノ意向ハ先ツ寄萍鉄路(南京ヨリ安徽、南昌ヲ經テ萍鄉ニ至ル線)ニ手ヲ著ケントシ居リ贛浙幹線ノ布設ハ後廻シトナサンツヌル模様ニ有之候処右寄萍線ハ英國ノ利益ニ大關係アリ本邦単独ニテ關係ヲ付クル事頗ル困難ナル事情北京ニ於テ有之様承知致候ニ付テハ寧ロ此際寄萍線ヲ(或ハ其中南京南昌間ヲ)英國ニ譲リ其代リ贛浙線ニ対スル或ル利益ヲ我レニ収ムル事ヲ得バ其方遙ニ利益ナリト存候
南京南昌線ハ揚子江水運ノ競争アリ經濟上ノ利益遙ニ贛浙線ニ劣リ且ツ本邦ノ立場ヨリ言ヘバ福建ノ關係モアリ本線鐵路ハ是非我手ニ收ムルノ必要有之候
右等諸点ハ本省及北京公使ニ於テモ既ニ御考量サレ居ル義トハ存候ヘ共為御参考卓見及報告候也

三一九 六月一日

在漢口高橋總領事代理ヨリ
加藤外務大臣宛（電報）

常玉鉄道ノ国有化ヲ交通部決定ノ件

第一〇五号

外務大臣男爵 加藤高明殿
領事館事務代理 濑上 惣治（印）
浙江省内及夫レト密接ノ関係ヲ有スル鐵道概略

常玉鉄道ニ閔シ五月三十日附ヲ以テ八木ヨリ左ノ通報告ニ接セリ

今般南昌新聞ノ報スル所ニヨレハ北京交通部ハ路政統一主義ニヨリ既ニ浙贛鐵路ヲ國有トナシタルニ依リ常玉線モ之レヲ商辦ニ委スルヲ不便トシ曩ニ許可シタル商辦ヲ取消シ國有トナスニ決定今般江西ノ戚民政長及浙江ノ湯壽潛ニ電報ヲ發シ來リ本件解決ノタメ代表者ヲ北京ニ送り正式國有ニ閔スル契約ニ調印セシメタキ旨命令シ來レル由ナリ右命令ニ閔シテハ戚民政長ハ目下浙江側ト夫々協議中ナル由ナリ

北京ニ転電セリ

三二〇 十二月十六日 在杭州領事館事務代理ヨリ
加藤外務大臣宛

常玉鉄道修築ニ閔シ報告ノ件

公第七九号

（十二月二十三日接受）

浙江省管内ニ於ケル鐵道ヲ主トシ夫レト密接ノ関係ヲ有スル鐵道ニシキ別紙ノ通り調査致候間御查閱相成度此段及御報告候 敬具

（別 紙）

浙江省内及密接ノ関係ヲ有スル鐵道概略

（大正三年十一月現在）

（本邦一里——支那六里）

常玉鉄道（計金中）

浙江省常山線——江西省玉山線——約八十支里大正貳年三月ノ頃湯壽潛（前浙江省都督——前全浙鐵道理事長）及ビ時ノ江西都督李烈鈞トノ発起ニ係リ株金——當省ヨリ各五十万円——発起人負担各二十万元——總計百四十万元ノ予定ナリシモ昨秋ニ於ケル第二次革命事變ノ結果李烈鈞ノ亡命ニ引続

キ金融逼迫ノ大打撃ヲ蒙ムリ遂ニ其儘トナリ大正三年七月浙江鉄道ト共ニ國有ニ帰シタルモ敷設費ノ出處ナキ為メ無期延期トナリタリ然レドモ常山及ビ玉山地方ニ於ケル夏布（麻布）磁器塗茶等ノ各組合業者ハ營業上切実ニ本鉄道ノ必要ヲ感シ居レルヲ以テ差當リ輕便鐵道ヲ修築セントノ計企ヲ立テ其敷設費三十四万元ハ前記各營業者ニ於テ負担スル事トシ目下江西浙江兩省巡按使ヲ経テ其修築ニ閔シ交通部ニ稟請中ナリ

因ニ本鉄道ハ将来江西南昌ヲ經テ湖南省長沙ニ達シ南潯鉄道ト連絡セシム可キ大計企アリ

於テ考量ヲ遂ケマサニ貴官ニ訓令ヲ發セントスル運ヒニ相成居リタル處今回貴官ヨリ交通次長ニ開談セラレタル次第モアルニ付此際愈々支那側ニ對シ商議ヲ開始スルコトト決定セリ而シテ政府ノ希望ハ左記諸線ニ對シ敷設権ヲ獲得スルカ或ハ借款關係ヲ結フカニ在リ而シテ交渉ノ衝ニハ貴官ニ於テ之ニ当ラレタク若シ右ニテ面白カラサル事情アレハ小田切ヲシテ当ラシメラルモ差支ナシ交渉開始ノ時期ハ貴官ノ裁量ニ一任スルニ付直チニ開談セラレ差支ナシ尤モ委曲公信ニテ申進スルニ付ソレヲ待タル、モ苦シカラズ又本件ニ閔シ支那當局者操縱ノ為メ費用必要ナレハ御申越次第詮議スヘシ

(一)廈門ヨリ福州光沢撫州南昌ヲ經テ漢口ニ至ル
(二)福州ヨリ羅源ヲ經テ三都澳ニ至ル
(三)南昌ヨリ衢州ヲ經テ杭州ニ至ル

(四)第(一)及第(三)ヲ聯結スヘキ一線例へハ延平常山線

本件ハ極秘トシテ取扱ハレタシ

ト商議開始方訓令ノ件

第八一号

三二一 二月十三日 牧野外務大臣ヨリ
在中國山座公使宛（電報）

福建江西湖北浙江四省ノ鉄道問題ニ付中國側

第一〇五号

貴電第

（五）

一二六号ニ閔シ福建鐵道問題ニ付テハ先般來政府ニ
八 華中及華南鐵道交渉ニ閔スル件（五）三三一 三三二

三二二 二月十三日 在中國山座公使ヨリ
牧野外務大臣宛

註 前掲二六三文書

五一五